

平成29年度 国立磐梯青少年交流の家教育事業実施計画一覧 (案)

平成29年3月25日現在

No.	事業名	事業目的	事業内容	期間	対象	募集定員
(1) 青少年の体験活動等の重要性に係る普及・啓発(普及啓発活動)						
1	【体験活動普及】 「ぼんだいじいじのワンダーランド」	子供と保護者を対象に、関係団体や機関等と連携し、磐梯の持つ魅力ある体験を発信する。	・裏磐梯湖沼群ハイキング ・磐梯山登山 ・カヌー体験 ・野外炊事 ・野営(テント泊体験) ・雪遊び 等の磐梯の魅力あるプログラムを実施	①5.13(土)～5.14(日)(1泊2日) ②6.2(金)～6.4(日)(2泊3日) ③7.23(日)～7.25(火)(2泊3日) ④9.30(土)～10.1(日)(1泊2日) ⑤10.28(土)～10.29(日)(1泊2日) ⑥11.25(土)～11.26(日)(1泊2日) ⑦12.2(土)～12.3(日)(1泊2日) ⑧12.9(土)～12.10(日)(1泊2日) ⑨1.20(土)～1.21(日)(1泊2日) ⑩2.3(土)～2.4(日)(1泊2日)	子供と保護者	各回30名程度
2	【体験活動普及】 「大好きBSC(磐梯自然クラブ)」	ぼんだい自然クラブを対象に、磐梯の自然を満喫する機会を提供する。	・スキー ・スノーシュー ・雪遊び 等の磐梯の冬を満喫するプログラム	1.27(土)～1.28(日)(1泊2日)	子供と保護者 ※ぼんだい自然クラブ会員対象	60名程度
3	【地域ぐるみで体験の風をおこそう】 体験の風をおこそうin磐梯 (春編・秋編・冬編)	関係機関・団体と連携し、体験活動や地域の魅力を広く発信する。	・子ども体験遊びリンピック ・昔あそび ・森のスライダー ・創作活動 ・野外クッキング ※関係機関・団体と連携して事業展開	春: 5.6(土)～5.7(日)(1泊2日) 秋: 10.21(土)～10.22(日)(1泊2日) 冬: 2.17(土)～2.18(日)(1泊2日)	家族・地域一般	宿泊参加(申込制) 各回72家族300名 2日目 日帰り参加
4	※研修支援 「すくすくキャンプ」	N I C U(新生児集中管理室)の卒業生とその家族が、自然の中でのさまざまな体験活動を通じて、互いに交流を深め、保護者同士のネットワークを構築する機会を提供する。	・野外炊事、キャンプファイヤー、星空観察等 ※保護者の情報交換プログラムの実施	8.5(土)～8.7(月)(1泊2日)	N I C U卒業生と保護者	30名
(2) 青少年教育に関する地域力向上等のためのモデル的事業の開発(地域力向上事業)						
5	【看板事業】 【長期自然体験】 チャレンジ・ジオキャンプ2017	登山やチャレンジウォークといった冒険的な活動を通じて、仲間と協力して自ら困難を乗り越えるための技術や態度を培うとともに、長期キャンプの魅力を発信する。	・磐梯山火山口探検 ・防災生活体験 ・火山爆発で水没した遺跡探検 ・登山 ・救命救急講習 ・シャワーウォーク ・猪苗代湖1周チャレンジウォーク 等	7.30(日)～8.12(土)(13泊14日)	小学5年生～中学3年生	24名
6	【地域力】 通学キャンプ ウイズスクール	親元を離れた共同生活を通じて、生じる様々な不安や不足、葛藤について、自ら考え友達と協働し解決したり、又は合理的な説明を自分でしていく機会をとするとともに、保護者や様々な人々と支えあい助け合っていることに改めて気づく場にしていく。また、他校や他町の同世代の交流を通じて、集団における自分の特性やその中での役割、自他校について考える機会を提供する。	・遊びを通じた人間形成を育むプログラム ・活動の意欲を育むプログラム ・郷土愛を育むプログラム ・自立心を育むプログラム ・ボランティアを育成するプログラム ・他の町村との交流を図るプログラム	11.12(日)～11.18(土)(6泊7日)	猪苗代町 磐梯町 小学4-6年生	60名
7	【生活・自立支援キャンプ】 「お日さま ぼかぼかキャンプ」	課題を抱える子供を対象に、体験活動を通じて、子供たちの基本的な生活習慣を確立する機会を提供する。	・レクリエーションや外遊びのプログラム ・様々な体験活動を通して、自立した生活ができるように、母子が協働するプログラム ・基本的な生活習慣を身につけるきっかけを作るプログラム ・体験の風をおこそうin磐梯を通して、生活・自立支援につながるプログラム	①5.6(土)～5.7(日)(1泊2日) ②10.21(土)～10.22(日)(1泊2日) ③12.10(日)(日帰り) ④2.17(土)～2.18(日)(1泊2日)	連携 母子支援施設27世帯	—
8	【こどもの森プロジェクト】 「ぼんだいこどもの森キッズランド」	ぼんだいこどもの森を活用し、幼児期に必要な運動能力や体力の基礎を養う体験を、幼児、保護者、教育関係者に提供するとともに、こどもの森の魅力を発信する。	・自然体験や外遊び、段ボール遊びによる幼児期の36の運動基本動作の体現をするプログラムを実施 ・親子一緒に自然体験や読書活動の重要性を啓発するプログラムを実施 ・保護者による子育てカフェ	①4.22(土)～23(日)(1泊2日) ②6.10(土)～6.11(日)(1泊2日) ③9.2(土)～9.3(日)(1泊2日) ④10.14(土)～10.15(日)(1泊2日) ⑤12.16(土)～12.17(日)(1泊2日)	幼児と保護者	各回10家族程度
(3) グローバル人材の育成を見据えた国際交流の推進(国際交流)						
9	2017ミクロネシア諸島自然体験交流事業	太平洋諸島の子供たちを日本に招聘し、自然体験や同世代の人々との交流などを行い、子供たちに自然のすばらしさ、共生することの大切さを学ぶ機会を提供する。	・ホームステイ ・五色沼・松原湖散策 ・小学校・中学校訪問(交流事業) ・日本文化体験	6.22(木)～6.26(月)(4泊5日)	招へい 11～14才のミクロネシア諸島の子供たち	24名
(4) 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上(指導者等養成研修事業)						
10	【指導者養成】 自然体験活動指導者講習会(NEALリーダー養成講習会)	自然体験の特定の活動プログラムを指導する自然体験活動指導者(リーダー)を養成するとともに、ボランティアのスキルアップ研修の機会を提供する。	・全国共通の指導者養成カリキュラムに沿った指導者の養成 ・養成した指導者の事業への参画の推進 ・概論 I	10.7(土)～10.9(月・祝)(2泊3日)	18歳以上	30名
11	【指導者養成】 教員免許状更新講習(選択18時間) 「教科指導や学級経営に生かす体験活動の指導」	今日の社会的環境、児童の現状、発達段階を踏まえ、体験活動の意義と必要性、教育的効果を理解する。また、自然体験活動を実際に体験し、教師に求められるコミュニケーション能力や自然体験活動の指導方法を身につけ、教師としての指導力の向上を図る。	・講義(体験活動と子供たちの変容、学校における集団宿泊学習) ・実習(体験活動指導技術)	9.16(土)～9.18(月・祝)(2泊3日)	小・中学校 教諭	30名
12	【指導者養成】 ボランティアセミナー	体験活動や青少年教育に関する学習を通じて、ボランティアについて考えるとともに、ボランティア活動の機会を提供する。	・講義(青少年教育施設の現状と運営、青少年の理解、ボランティア活動の意義) ・実習(普通救命救急講習、野外活動) ※ボランティア企画プログラムの展開	5.27(土)～5.28(日)(1泊2日)	高校生(16才)以上	40名
(5) 東日本大震災復興支援プロジェクト						
13	【東日本大震災復興支援】 「福島こども未来塾」	福島の子供たちが自分に向き合い、地域や人と交流しながら、福島のこと、自分のこと、社会のことを知り、改めて福島や自分の未来について考え、自分の言葉で発信する。	①オリエンテーション、仲間づくり ②郷土の歴史・文化を学ぶ ③自然を学ぶ(登山・自然観察) ④I O T未来を学ぶ(東京プログラム) ⑤ヤングアメリカンズを通して学ぶ(NPO法人じぶん未来クラブ) ⑥様々なスポーツを通して学ぶ(ユナイテッド・スポーツ・ファウンデーション) ⑦地域の産業を学ぶ ⑧学習成果のまとめ ⑨学習成果発表会	①5.27(土)～5.28(日)(1泊2日) ②6.17(土)～6.18(日)(1泊2日) ③7.8(土)～7.9(日)(1泊2日) ④8.20(日)～8.22(火)(2泊3日) ⑤9.16(土)～9.18(月・祝)(2泊3日) ⑥10.7(土)～10.9(日・祝)(2泊3日) ⑦11.3(金・祝)～11.5(日)(2泊3日) ⑧1.13(土)～1.14(日)(1泊2日) ⑨2.24(土)～2.25(日)(1泊2日)	小学5年～中学2年	通年参加 40名